

2020年9月1日号

発行 生き生き八王子

Tel/Fax 042-668-1020 E-mail info88@wakaokimie.jp

http://wakaokimie.jp http://twitter.com/wakao\_kimie



**TOPICS ▶ 八王子市議会議員 若尾きみえの活動と市政報告**

\*洪水ハザードマップの見直しが実現! ~第2版・総合防災ガイドブックを全戸配布~

I. コロナに負けないよう、食生活でも免疫力アップ!

II. 農あるまちづくりに向けて一歩前進 ~獣害対策課の設置が実現! ~

III. 不登校の子ども達の学習支援とコロナ禍の学びの保障に向け、オンライン学習を提案

2019年10月には台風19号による被害が発生し、改めて防災のまちづくりの重要性を感じています。そして、今、新型コロナウイルスの感染拡大という、新たな課題に私たちは直面しています。

人と交流できない辛さ。経済的な打撃など、コロナの影響は計り知れません。感染症予防と経済的支援の充実で、早期にコロナを収束させていけたらと強く願います。

今、ICT（情報通信技術）を活用したテレワークやオンライン会議などの取り組みが進んでいます。働き方改革や満員の通勤電車の問題など、これを機に改善していける可能性もあります。

コロナ禍は新しい時代に向け、知恵を育む巣ごもりの時期だった。後になってそう思えるよう、大変ですが、みんなで乗り切っていけたらと思います。

日々、皆様からたくさんご要望やご意見、ご相談を頂いております。お声を踏まえ、しっかりと政策提案につないで参ります。何かありましたら、お気軽にお声かけください。

市議会議員 若尾 きみえ

**【コロナ関連情報】**

**市の医療体制や感染者の状況は？**

八王子市には都設置の宿泊療養施設があり、医療体制のバックアップになっています。7月以降、20代、30代の若い世代の感染者が増加。無症状・軽症の方が大半ですが、若い人からの家庭内感染も増えています。病気がある方や高齢者で免疫力が落ちている方は重症化のリスクも。引き続き、感染症対策への取り組みが大切です。

**コロナ関連のご相談は 八王子市が設置する総合コールセンターまで**

▶コロナ禍で収益が激減した事業者の支援、生活にお困りの方への支援制度など、国、都、市の制度をぜひご活用ください。制度はどんどん変わります。市の広報やホームページなどでご覧頂き、お困りのこと、わからないことは、総合コールセンターまで。

\*新型コロナウイルス感染症に関する総合コールセンター **Tel. 042-620-7253**

**【防災関連情報】**

**◎洪水ハザードマップの見直しが実現!  
~第2版・総合防災ガイドブックを全戸配布~**

私は、昨年の9月議会で八王子市洪水ハザードマップの見直しを提案しましたが、市は、都の新たな調査結果を受け、洪水ハザードマップの見直しを行いました。9月に全戸配布される第2版・八王子市総合防災ガイドブックをぜひご確認ください。浸水想定が大幅に変わり、避難所も変更されています。今後も新たな調査結果が出次第、総合防災ガイドブックは更新されていきます。



写真で見ると  
**活動報告**



地域の皆さんと  
防災倉庫の点検



鶴見川多目的遊水池・  
日産スタジアムの見学



イノシシの獣害対策の現場視察



八王子市立いずみの森  
義務教育学校の視察



八王子バイオマス・エコセンター  
の視察

## I コロナに負けないよう、食生活でも免疫力アップ！

▶結核など、過去の日本の感染症克服の歴史をみると、学校保健と衛生管理、栄養改善が重要な柱でした。3月議会では、**免疫力アップに向け、食の重要性**を取り上げました。ま

た、コロナに関して、**市民の心によりそう、わかりやすい情報提供になるよう、ホームページや広報の工夫**を求めました。

### 子どもたちへの食育の充実を

食に熱心な家庭と、無関心な家庭の二極化が進んでいます。野菜、豆や味噌などの発酵食品、海藻、きのこ、魚など消費量が減っています。こうした伝統的に食べてきた食材には体の免疫を活性化する力があります。また、ビタミンCやDの摂取は、感染症予防にも効果があります。



センター方式の中学校給食がスタートしていますが、これを機に子どもたちに食の大切さを伝えていこう、食育の充実を求めました。

### コロナと口腔ケアについて提案

～口腔ケアは健康づくりの要！～

6月議会では感染症予防、コロナの重症化予防の視点から質問しました。

**Q** これまでも、生活習慣病や認知症予防の観点から口腔ケアの重要性を取り上げてきたが、コロナ対策でも口腔ケアが重要であることを発信してほしいと思うが、市の見解は？

**A** 口腔内を清潔に保つことは、糖尿病など生活習慣病の重症化予防、誤嚥性肺炎や感染症の発症予防にも効果がある。日常の口腔ケアの重要性や、かかりつけ歯科医を持つ大切さを、ホームページや広報等で市民に周知していく。

## II 農あるまちづくりに向け一歩前進

～獣害対策課の設置が実現！～



▶コロナ禍で、食の安全保障の問題が急浮上。食料自給率を上げていくことは急務です。6月議会では、八王子の都市農業をテーマに質問。また、**農業の大きな障壁となっている、イノシシなどによる獣害被害**を取り上げました。

**の安全、環境保全の視点、人材育成の視点**

から質問し、獣害対策基本計画の見直しも提案しました。市から、計画の見直しをしていくとの答弁がありました。

昨年12月議会で獣害対策の充実を求め質問しましたが、その後、八王子市は今年4月から新たに獣害対策課を設置。6月議会では、**獣害対策課の業務について、農地の保全、市民**

都市農業は、**食の生産基盤、また、市民の活動の場、八王子の魅力づくり、防災の視点**など様々な視点から重要です。農あるまちづくりをしっかりと進めていきます。

## III オンライン学習の実現に向け前進

～不登校の子ども達の学習支援とコロナ禍の学びの保障に向け～

▶八王子市では1人1台のパソコンを学びに活用するGIGAスクール構想を進めています。

コロナ禍で八王子市内の小中学校も3月上旬から5月末まで休校となり、学びの保障や心のケアが課題に。

6月議会では、不登校の子どもたちの学習支援として、オンライン学習を進めて行くよう提案しました。

市教委からは、**「オンライン学習は不登校の子ども達の学習支援、コロナ禍での子ども達の学びや心のケアの点でも有**

**効である。活用のあり方を検討し、進めていきたい。」**との答弁がありました。

パソコンやネットなどのICTが使えないと、情報が取れず、仕事や行政手続きでも不利に。**コロナ禍で経済的格差とICT格差の問題が浮き彫り**になっています。

すべての子ども達にICT教育をしていくことが大切です。また、パソコンなどの長時間使用の弊害を踏まえ、子ども達の心と体の健康に配慮し、ICT教育に取り組むよう求めました。

あなたのご意見・ご提案をお気軽にお寄せください！

### 生き生き八王子

〒193-0833

八王子市めじろ台3-19-14

E-mail info88@wakaokimie.jp

TEL&FAX 042-668-1020

HP <http://wakaokimie.jp>



若尾きみえ

**若尾きみえプロフィール** ◆略歴/1964年岡山県生まれ。岡山大学教育学部卒業。岡山市立の幼稚園にて教諭。結婚を機に退職し、その後、仙台市、富山市にて英会話講師。1998年から八王子市散田町の住民、2006年からめじろ台在住。八王子の豊かな自然やよりよい環境を子どもたちに残し、人のつながりの中で元気に暮らせるまちづくりをしていきたいとの思いを強める。2003年市議会議員初当選後、2期活動。2019年市議会議員再選、3期目。無所属。 ◆主な活動実績/八王子市環境基本条例制定に向けて活動。八王子市西南部環境市民会議会議員。めじろ台三丁目町会会長・自主防災隊長、地域で高齢者福祉、医療・介護問題や防災について取り組む。赤ちゃんから高齢者まで、みんなが健康で元気になるまちづくりをめざして活動中。まちづくり市民講座代表。八王子未来政策委員。 ◆趣味/柴犬・ガーデニング。音楽鑑賞・陶器。